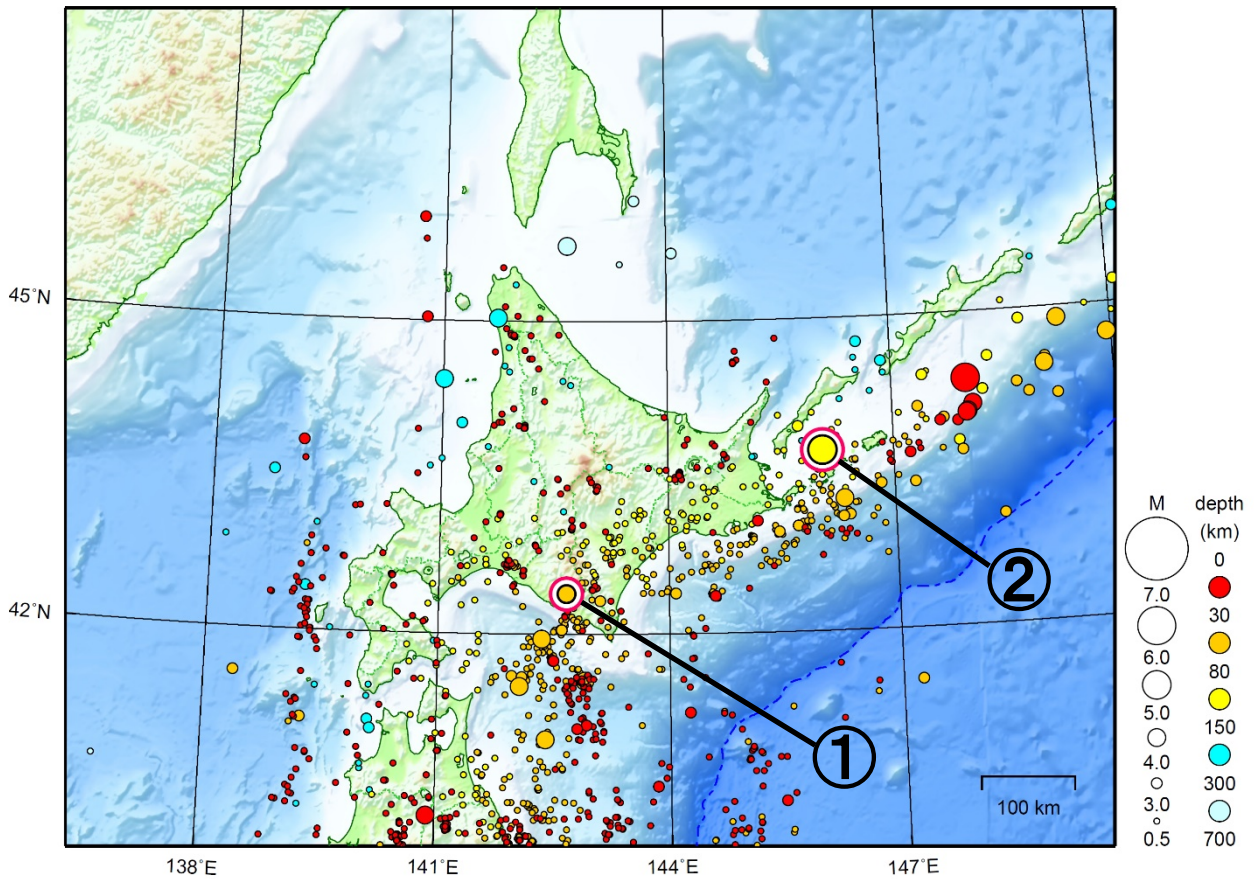


北海道地方

2021/12/01 00:00 ~ 2021/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

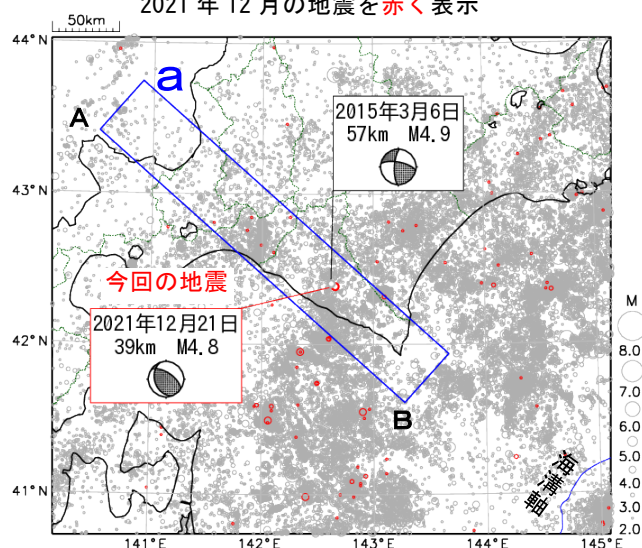
- ① 12月21日に日高地方中部で M4.8 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 12月21日に国後島付近で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

12月21日 日高地方中部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年12月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.0$)
2021年12月の地震を赤く表示

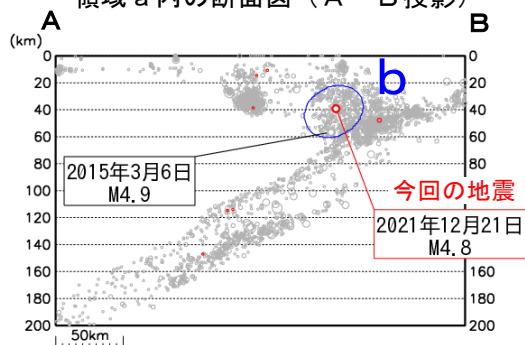


2021年12月21日01時05分に日高地方中部の深さ39kmでM4.8の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、陸のプレート内で発生した。発震機構は北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

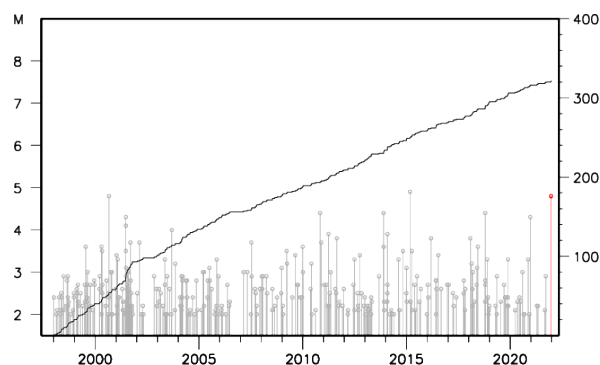
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震がしばしば発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震はしばしば発生している。2018年9月6日の「平成30年北海道胆振東部地震」（M6.7、最大震度7）により、北海道では死者43人、負傷者782人、住家全半壊2,129棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

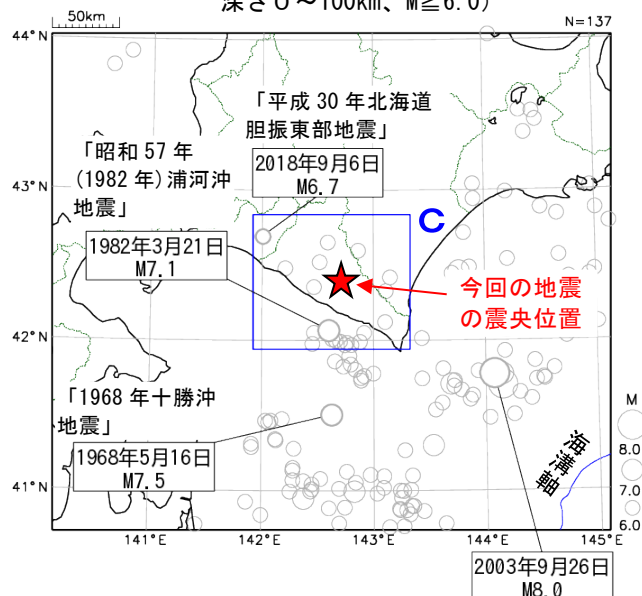
領域a内の断面図（A－B投影）



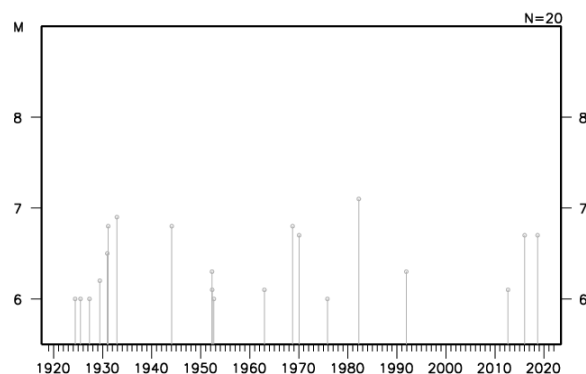
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図



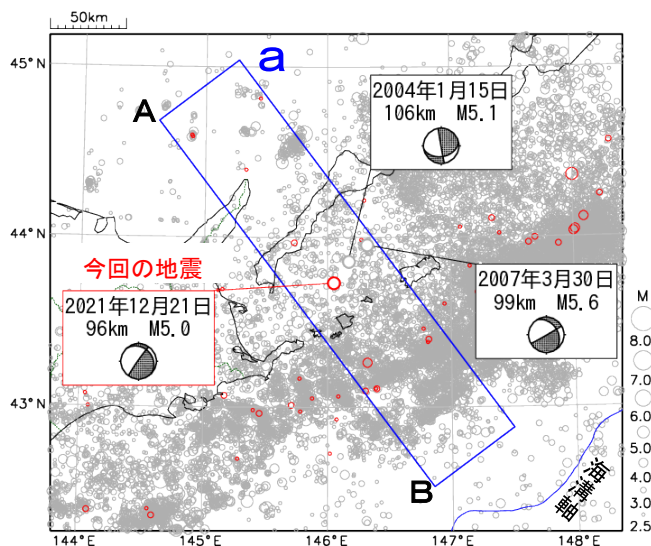
「平成15年(2003年)
十勝沖地震」

12月21日 国後島付近の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2021年12月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)

2021年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

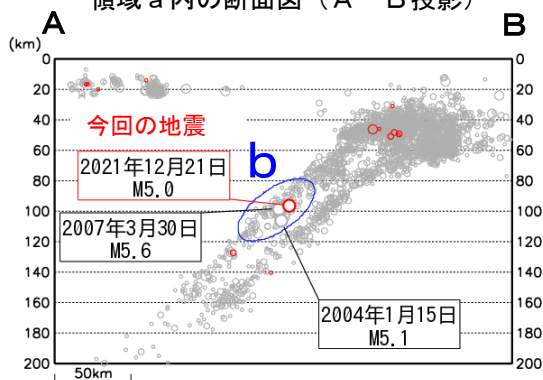


2021年12月21日11時53分に国後島付近の深さ96kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の上面）で発生した。

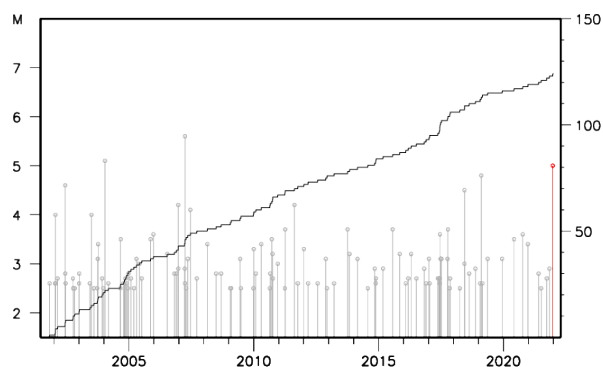
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が今回の地震を含め3回発生している。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺のやや深い領域（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。最大は1964年6月23日（最大震度4）と1965年10月26日（最大震度4）の $M 6.8$ の地震で、1964年の地震では負傷者1人の被害を生じた（「日本被害震総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）

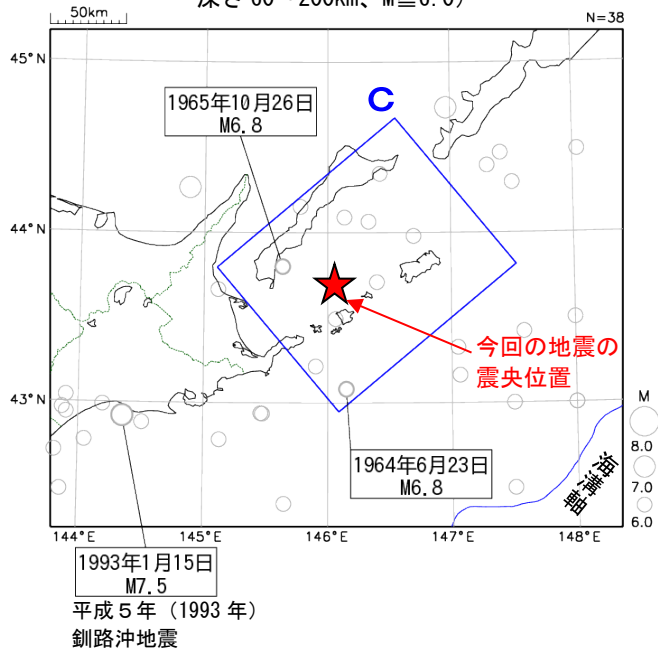


領域b内のM－T図及び回数積算図

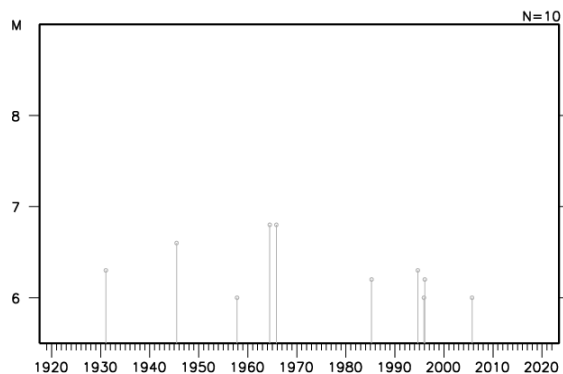


震央分布図

(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ60～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図



気象庁作成